

# 令和5年度動物由来感染症サーベイランス結果報告

大阪府では、動物由来感染症の発生を防止し、又はまん延を防止するため、環境農林水産部と健康医療部が一体となって動物由来感染症の積極的な検査(サーベイランス)を実施しています。検査の結果は、以下のとおりです。

令和6年1月31日現在

感 染 症 名	対象動物	検体	令和5年12月まで			令和6年1月			令和5年度 計		
			検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性
結 核	牛		0頭			0頭			0頭		
腸 管 出 血 性 大 腸 菌	牛・めん羊	糞便(農家)	82検体	0検体	82検体	3検体	0検体	3検体	85検体	0検体	85検体
	牛	枝肉(食肉処理場)	45検体	0検体	45検体	5検体	0検体	5検体	50検体	0検体	50検体
ウエストナイルウイルス感染症	蚊		2060匹	0匹	2060匹	0匹			2060匹	0匹	2060匹
	野鳥	脳	2羽	0羽	2羽	0羽			2羽	0羽	2羽
高病原性鳥インフルエンザ	鶏・アヒル	気管・クオアカスワブ	272羽	0羽	272羽	30羽	0羽	30羽	302羽	0羽	302羽
		血清	570羽	0羽	570羽	60羽	0羽	60羽	630羽	0羽	630羽
	野鳥	気管・クオアカスワブ	17羽	0羽	17羽	17羽	0羽	17羽	34羽	0羽	34羽
	野鳥(渡り鳥)	糞便	186検体	0検体	186検体	94検体	0検体	94検体	280検体	0検体	280検体
豚インフルエンザ	豚	肺	0頭			0頭			0頭		
デング熱	蚊		2060匹	0匹	2060匹	0匹			2060匹	0匹	2060匹
ジカウイルス感染症	蚊		2060匹	0匹	2060匹	0匹			2060匹	0匹	2060匹
チクングニア熱	蚊		1102匹	0匹	1102匹	0匹			1102匹	0匹	1102匹
日本脳炎	豚	血清	59頭	0頭	59頭	0頭			59頭	0頭	59頭
	蚊		2060匹	0匹	2060匹	0匹			2060匹	0匹	2060匹
ブルセラ病	牛	血清	1頭	0頭	1頭	0頭			1頭	0頭	1頭
レプトスピラ症	豚	腎	0頭			0頭			0頭		
	アライグマ	尿	45頭	5頭	40頭	4頭	0頭	4頭	49頭	5頭 <sup>※1</sup>	44頭
日本紅斑熱	アライグマ	血液	20頭	5頭	15頭	0頭			20頭	5頭 <sup>※2</sup>	15頭
狂犬病	犬	脳	2頭	0頭	2頭	0頭			2頭	0頭	2頭
クリプトスポリジウム	牛	糞便	0頭			0頭			0頭		
	アライグマ	糞便	90頭	4頭	86頭	10頭	1頭	9頭	100頭	5頭 <sup>※3</sup>	95頭
B S E	牛	延髄(食肉処理場)	0検体			0検体			0検体		
		延髄(死亡牛)	4頭	0頭	4頭	0頭			4頭	0頭	4頭
豚レンサ球菌感染症	豚	臓器	0頭			0頭			0頭		

\* 1 レプトスピラ症については、感染動物の尿に汚染された可能性のある水や土壌に素手で触れないよう注意し、また触れた場合は十分に洗浄、消毒して下さい。

\* 2 日本紅斑熱は、マダニ類に咬まれることにより感染する恐れがありますので、野山に入る時には肌を露出しない服装や、虫除けスプレーを使用する等、注意しましょう。

\* 3 クリプトスポリジウムは、汚染された水を飲むことにより感染することがありますので、野外で生水を飲まないようにしましょう。